

H24年度風力発電検討部会のまとめ

取組

- 昨年度取りまとめた基本構想(案)をもとに、関係者との調整を図りながら進めた
- また、電力会社において、風力発電の連系枠拡大に伴うアクセス検討の募集・抽選が実施され、四国カルストでの風力発電事業に関して検討途中の段階であったが、連系枠を確保するため、梶原町名義で応募
- あわせて、風力発電導入の検討に必要な配置レイアウト、風車の輸送路、系統接続のための送電線路等に関する調査を外注により実施

表 電力会社へのアクセス検討申込みの概要

項目	内容
発電所の所在及び名所	高知県高岡郡梶原町太田戸119-1番地他 四国カルスト風力発電所(仮称)
申込者	梶原町
規模	16,000kW (2,000kW × 8基)
事業費	49億円
事業主体	組織形態を含め検討中

まとめと課題

- 周辺自治体の担当課との意見交換を実施し、資源の有効活用という面では一定の理解を得たが、環境に対し十分な配慮をという意見もあり、今後慎重に進めていくことが必要である。
- 電力会社へのアクセス検討の申し込み(2,000kW風車を8基建設計画)の抽選結果としては、下位の順位となり、20万kWの系統受入枠外となった。
- 一方、関係者のヒヤリング等によれば、電力会社へ申し込まれたアクセス検討のプロジェクトにおいて、同様の地点での異なる事業者が計画しているものがあり、検討順位が繰り上がっているという情報もあるので、対応できるよう引き続き検討を深める必要がある。
- ただし、既に申し込みを行った風車の機種、規模等が変更となる場合は、アクセス検討の順位が最下位となることから、電力会社の受入枠の問題から、系統接続の実現性が低くなることも考えられる。
- また、委託調査として、風車の輸送路について2つのルートでの検討を行い、一部看板等の支障物の撤去が必要な箇所があるものの、2,000kW規模の風車でも輸送可能であることを確認した。送電線の敷設ルートについては、一部地中送電線路とする必要があるという調査結果となった。
- 事業実現に向けては、梶原町を中心とした事業主体をどのような形態とするかなど、事業スキームの早期確立が必要である。

今後の方向性

電力会社へのアクセス検討内容として申し込みを行った2,000kW風車8基建設することを検討のベースとして、以下の項目について今後も検討を深める必要がある。

- ✓ 事業主体のあり方
- ✓ 資金調達
- ✓ 法規制への対応
- ✓ 周辺地域との調整